



🐉 新年のご挨拶 🐉

2026年（令和8年）の年頭にあたり、新年のご挨拶を申し上げます。
今年の干支は、「丙午」です。「丙（ひのえ）」は、太陽のような明るさや、活発さ、勢いなどエネルギーな意味合いがあります。そして「午（うま）」は、行動力や発展など、物事が前向きに進んでいく様を現すとされています。
2026年は「明るく、活発に、前向きに、よりよいビジョンに向かうことができる年」と言えます。より明るく、活発な地域を目指していくためには、一人ひとりの心づもりだけではなかなか難しい部分もあります。そのような中でも「地域みんなで手をひろげ」人と人の「つながりの維持」をしていくことが大事です。本年も、是非多くの方々に、地域活動へより積極的にご参加いただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆さまの日頃の地区社協活動へのご理解とご協力に心から感謝申し上げますとともに、今年一年のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

🌸 本年もよろしくお願いいたします 🌸



獅子舞の模様をお届けします！

1月2日(金)、生麦第一地区内で行われた獅子舞の様子をお届けします！
2026年を迎えたばかりのこの日、寒い中でしたが、朝から多くの人でにぎわっていました。獅子舞には「厄払い」や「無病息災」など様々な意味合いをもっています。古くから伝わる地域の伝統行事で、今年も縁起のよいスタートが切られました。



冬の生麦学び遊び場の会を開催しました🎮

12月26日、27日、28日、1月5日の4日間、生麦小学校の1年生から6年生まで全学年を対象に、「冬の生麦学び遊び場の会」を開催しました。この会は、子どもの「学びたい・遊びたい・〇〇したい」という思いを大切に、小学校の夏・冬・春休みの時期に開催をしています。学びの会では、学校の宿題や学習プリントに取り組みました。分からないところは、ボランティアの先生たちに聞きながら、それぞれ集中して頑張っている様子が見られました。

年が明けた1月5日には、遊びの会を実施しました。子どもとボランティアの大人が一緒になって、ポッチャやかるた、すごろくで遊びました。ポッチャでは、3人一組のチームに分かれて対戦しました。投球の際にアドバイスをし合うなど、温かい試合となりました。生麦の魅力を詰め込んだカルタである「なまいちじゃんカルタ」では、生麦の身近な風景を思い浮かべながら、楽しく遊んでいる様子でした。すごろくでは「6が出た!」「一回休みだ。」などさいころを振るたびにドキドキわくわくした様子でした。

次回は春休みに「遊びの会」を予定しています。

詳細は生麦小学校を通してお知らせいたします。皆様のご参加をお待ちしています!



生麦囃子保存会のご紹介～メンバー募集～

生麦囃子は江戸時代から伝わる郷土芸能で、昭和56年「横浜市無形民俗文化財」に認定されました。生麦囃子保存会は、小・中学生から大人まで、30人ほどの仲間から成り、正月の獅子舞、地元祭礼、各イベントなどに参加しています。

和太鼓に興味ある方、獅子舞、おかめ、ひょっとこ踊りに興味のある方、一緒に地元の伝統芸能を学びましょう。

横浜市無形民俗文化財認定
生麦囃子保存会 会長 八木下 努
連絡先 080-8742-9101



↓↓こちら是非ご覧ください!↓↓

Youtube

Instagram



水神宮の乗り初め🏮

1月2日(金)、生麦水神宮にて「乗り初め」が行われました。昔、生麦で漁業が盛んだったころ、漁師たちが一年の安全と大漁を願い、船を出す仕事始めの儀式でした。当時は、船の上で、威勢の良いお囃子が奏でられ、みかんを投げる奉納が行われ、町全体が活気に包まれていました。その後、開発による埋め立てなどにより、かつてのような船出の光景こそ見られなくなりましたが、この行事は大切な伝統として、今も地域の方々の手で守り継がれています。

